

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 静岡県藤枝市

本事業の担当部局名 健康福祉部子ども未来応援局こども課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	3.1.1 その他、結婚、妊娠、出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
個別事業名	子育て支援施設(藤枝おやこ館)支援事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	平成22年度
総事業費(A)(円)	3,464,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	3,464,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	3,464,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	142,000	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	142,000	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	0	22,000	0	3,300,000		3,464,000
	対象経費支出予定額	0	22,000	0	3,300,000		3,464,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市では令和7年度から「藤枝市こども計画」を開始し、待機児童ゼロや放課後児童の居場所づくり、地域子ども・子育て支援事業を推進し、子育てしやすい環境整備を行っている。 一方で、未婚化・晩婚化が急速に進行したことが影響し、婚姻数の減少とともに、出生数が減少し少子化が進展している。全国的に、完結出生児数も減少してきているが、それでも、長い期間、2.0人前後を示していることから、婚活事業をはじめ、結婚に係る若年層への経済的支援など、少子化対策の入口施策として結婚支援事業を実施する。</p> <p><本個別事業の位置付け> 「藤枝市こども計画」の基本目標1【こどもまんなか社会に向けた気運醸成】の(3)こども・若者を見守り、支える地域づくりを目指し、こどもの遊び場や体験・交流機会を創出するため本事業を行う。 また、当施設は駅近くの商業施設内にあり、子育て世帯や市内外問わず様々な人の目に留まる。当市HPや広報誌はもちろん、チラシ等を通行人向けに掲示することで、多くの人の活動・交流の拠点である中心市街地を中心とし、地域全体でこども・若者を見守り、支えていく体制を推進し、子育てを応援する気運醸成を図る。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	子育て支援施設の管理運営を行う市民団体に対し補助金を交付	<p>子育てが楽しくなる街の実現に向け、市民による子育て支援事業を実施する団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。子育て支援事業とは以下の通り。※対象:1団体</p> <p>(1)子育て中の親子に交流スペースを開放する事業 目的:子育て中の親子が安心して集い、情報交換や交流を通じて、孤立感を解消し、精神的な負担を軽減する機会を提供する。単なる場所の提供に留まらず、そこでの積極的な交流や学びを促す。 内容:交流イベントの定期開催:親子でのふれあい遊び、リズム体操、おはなし会、季節のイベントなどを定期的に企画・実施し、参加者が具体的なコミュニケーションや学びを得られる機会を創出する。</p> <p>(2)子育てに関する講座を開催する事業 目的:子育て中の親が抱える具体的な悩みや課題に対し、専門的な知識やスキルを習得できる機会を提供し、育児への自信を深め、前向きな行動を促す。 内容:育児スキル向上講座:離乳食の作り方、授乳・卒乳についてなど、管理栄養士や助産師を招き、実践的な育児スキルを学ぶ講座を「にこにこほっぺ」、「すくすくほっぺ」、「まちの保健室」などを開催。毎月1回開催、募集人数10人程度。</p> <p><特段の事情(補助金交付の必要性)> この団体は民間ボランティア団体であり、活動資金の確保に課題を抱えており、行政のみでは対応しきれない多角的な支援ニーズに対する対応が困難な状況にある。 補助金を交付することで、この団体の持続的な活動を可能にし、地域の実情に応じた多様な子育て支援を効果的に展開できるため、直接的な事業実施よりも、より多くのニーズに対応し、支援を必要とする子育て世帯に行き届かせることが可能となる。</p>				

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>
 設立以来、年間330万円の補助金で運営しており、そのほとんどを交通費(人件費)と講座運営費にあてているが、昨今の著しい物価上昇を鑑み、補助金の増額が課題となっている。これまで支援事業を一般財源で行ってきたが、今後この地域少子化対策重点推進交付金を活用し、安定した運営に繋げていきたい。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	出生率		人	1,050 (R8)	689 (R6)
	婚姻年間届出件数		件	475 (R8)	401 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.35□H30~R4厚生労働省：R6公表値)	
	婚姻件数		件	488□R4静岡県人口動態統計：R6公表値)	
	婚姻率			3.6□R4静岡県人口動態統計：R6公表値)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	利用者の人数	人	12000□R8年度)	12000□R7未見込み)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100□R8年度)	100□R6年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100□R8年度)	100□R6年度)
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					